

一般質問

町政全般にわたって10名の議員
から執行部の施策をたじた

一回目の質問及び答弁
を掲載しました。
主な質問並びに答弁の
要旨は、次の通りです。

脱ゆとり教育の時数確保対策は、
教育長…五、六校時の授業増で対応する。



福井源乃介議員

質問 土曜日の授業を再開したり、夏休みを短縮する動きがあるが本町はどうするのか。

答弁 教育長「今のところ、土曜日や夏休みに授業を実施する計画はない。しかし、修学旅行や集団宿泊学習、中学校の職場体験学習などは、各学校の実態を把握しながら、夏休みに実施することも検討する必要がある。」

質問 指導主事には教育現場を頻繁に回って指導や助言の時間を多く持つて頂きたいが。

答弁 教育長「庁舎内での事務は軽減を図り、指導主事の力が発揮できる

体制作りに努めている。今後も、指導主事ができるだけ学校に向き、指導助言ができる体制を整え指導主事自身も自己研鑽に努めさせていく。

指導主事の職務

学校に対する指導助言
ア学校の要請を受けて訪問し、指導助言する。
イ教育委員会ないしは指導主事が計画的に学校を訪問し、指導助言する。
ウ学校単位を越えた研究会、講習会等で指導助言する。
行政上の実務（教育行政の充実・活性化 教育長の指導機能の補助執行）

質問 副町長に何を求め、何を望むのか。

答弁 町長「これまでには長年役場職員など公的な職務を務められた人ばかりでしたが、今回はその観点を変えて民間の経営者

として、役場の外から見た行政の運営に目を向けて経営者感覚で当たってほしい。

質問 住吉校区で正名地区だけが取り残されている、県道拡張はどうな

平成二十三年度予算規模は、

町長…今年度水準を確保。



今井吉男議員

質問 交付金や自主財源等を含め歳入確保はいかに図るか、また予算規模は。

答弁 町長「歳入においては、予算のほぼ五〇％を占める地方交付税について、所管する総務省の概算要求をみると、ほぼ平成二十二年度水準が確保される見通しとなった。」

質問 政府は平成二十三年度から一括交付金を導入するようだが、今後

っているのか。

答弁 町長「県に対して実情を説明し陳情を行っているが特に人家連担部の新規着工は大変厳しいのが現状である。」

は事業計画等で職員の力量が一層問われると考えるが、体制作りは。

答弁 町長「体制については、各課それぞれが所管する事務事業があり、情報収集・企画立案を基礎に調整を行っている。」

質問 平成二十三年度予算で「地域交通推進事業」への補助制度を統合するようであり、離島航路や沖永良部バス企業団等への町負担が増えるのでは。

答弁 町長「国土交通省は来年の通常国会に法案を提案することになっている。なお本町やバス企業団等への影響及び金額は不明であります。」